

# 戦後70年

# 証言をつなぐ

戦争の進行の中で、障害者は人権の侵害を受け、たとえ行動能力がなくても、戦争にも動員された。また戦後も、戦争による傷と苦しみを癒すことができなかった。そして、私たちは戦争を通して何を学ばなければならないのか。また戦後も、戦争による傷と苦しみを癒すことができなかった。そして、私たちは戦争を通して何を学ばなければならないのか。



ナチス「安楽死」計画「毒室の血を維持せよ」という思想に基づいてナチス・ドイツが行った「安楽死」計画。障害者に対して「安楽死」を奨励する「指令」が下された。本部はベルリンのテューリング通り4番地から「T4計画」と呼ばれた。

戦争の進行の中で、障害者は人権の侵害を受け、たとえ行動能力がなくても、戦争にも動員された。また戦後も、戦争による傷と苦しみを癒すことができなかった。そして、私たちは戦争を通して何を学ばなければならないのか。

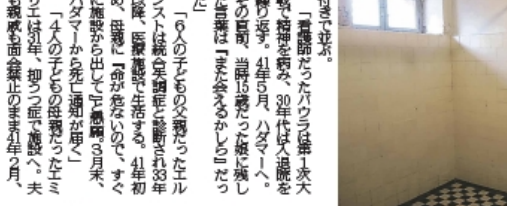
# 障害者「安楽死」7万人

## ナチス 悪魔の優生学



## 独ハダマー「罪」伝える記念館

「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。



「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

## 差別の中 協力強いられ



岸 博実氏  
日本盲教育史研究会事務局長  
「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

## 精神面への影響検証を



蛭塚 亮二氏  
メンタルクリニックなごみ院長  
「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。

【取材】佐藤倫之、木下哲、丹村智子、岡分史  
【デザイン】下川光二、大田誠寿  
【編集】竹井善治、古村次郎、東祐一郎

「T4計画」と呼ばれた安楽死計画は、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。ナチス・ドイツは、戦争の目的で、社会的に不要と見なされた障害者や高齢者を殺害するための計画であった。